

月高だより

北海道札幌月寒高等学校
第 57号
令和8年6月8日発行
発行者 校長 黒島 敏

■ 考査終了しました

先週の金曜日に考査が終了し、久々に放課後の校舎内に生徒の声が聞こえてきました。明るい顔で昼下がりにぞろぞろ帰って行く生徒の姿を見て、自分が学生だったときのことを思い出しました。勉強すること自体は一生続く(!)のですが、定期テストの独特の雰囲気って高校生まで、というような気がします。大学でも一応テストはありますが、ノートやテキスト持ち込み可だったり、口頭試問だったり、レポートの提出だったり、ちょっと違うんですね。小説家の遠藤周作が「学生時代のテストで落第した夢を今でも見る」とエッセイに書いていましたが、人によってはトラウマになるぐらい強烈な印象を残すものなのでしょうね。

■ ジャージ登校に思うこと

初夏とはいえ、季節外れの暑い日が続きました。1日の月曜日の午後、本校は開校記念日でしたが、私は他校で会議があり、休日出張をしました。札幌市内を車で走っていると、結構ジャージで登下校している中高生を見ました。会議場となった高校でもそうでした。中学生はともかく高校生がジャージ登校をしている姿を見て「胸に名前や学校名が入っている、しかも色で学年までわかるウェアを着ることに抵抗ないのかな？」と思います。

高校では6年前のコロナの流行時に「洗濯が頻繁にできるから」と、3年ほど前からは「猛暑のため」という理由で、ジャージ登校が増えました。数年前にとある私立高校の教頭先生が「ジャージの学校名を見た市民から、“お宅の生徒が列車内でうるさい”と名指しで苦情がくるが増えた」とぼやいているのを聞きました。本校でも同じような苦情があります。通報する人だって若かった頃はあったでしょうに、不寛容の時代ですね。

我が子もそうでしたが、スウェットやジャージを普通に外出着にしている若者にとって、匿名性よりも「楽さ」「着心地」が最優先なのかな～と思います。何も考えてないだけかもしれませんが。

でも最近の中高生の学校ジャージは格好良いですね。私が高校生の頃のジャージなんて、囚人の着るようなダサいやつで、しかも「前をオープンにしてだらしく着るから」という理由でプルトップタイプ。学年別に色が違うのですが、ありえない色でした。えんじ、はともかく、ビビッドなグリーン、紫、オレンジなどです。私の学年は緑ジャージだったので他学年から「イモムシ軍団」といわれていました。紫は「悪魔軍団」オレンジは「ミカン軍団」と呼ばれてました。卒業後は部屋着にもできないですね。でも無駄に頑丈だったので、ばあちゃんが農作業に着ていたりして…。私の出身地方では、ビビッドなカラーが畑を席卷していました…。

ただ、猛暑日にジャージ上下をがっちり着て登校している中高生の姿を見るとかえって熱中症になるんじゃないかと心配になります。月高では、ポロシャツやハーフパンツも今年から導入されています。1年生が着用しているのを見ましたが涼しげで良いですね。上手に活用してほしいですね。

■ 高文連大会などなど

本校将棋部女子3名(いずれも3年生)が全道大会で優勝し、8月に秋田で実施される総文祭への出場権を得ました。3年連続だそうです。先だって囲碁部の女子(3年生)も3位となり全国出場権をえました。彼女も3年連続であり、全ての出場した大会で全国出場なんだそうです。4人とも高校から囲碁・将棋を始めたということで、ありきたりな感想ですが、すごいなあ～と思います。私自身はというと、囲碁将棋はルールこそ知っていますが全くのヘボヘボなので、本当に尊敬します。勝手なイメージですが囲碁・将棋部のある学校って「かしこい学校」って感じがしますね。

秋田といえば「なまはげ」「きりたんぼ」などが有名。我が子が小さい頃「なまはげ」をテレビで見ると恐れおののき、それからしばらくは「なまはげが来るぞ」と脅すとおとなしくなったのを思い出します。「きりたんぼ」は中学生の時、修学旅行で初めて食し、その「ちくわ」な見た目とうらはらに、ご飯を固めたそのものの味で脳がバグりました。かき氷のイチゴシロップとメロンシロップは色が違うだけで味は同じという話を聞いたことがあります。「目で味を判断」しているということでしょうね。

■ あとがき

私の自宅は「JOIN ALIVE」の会場から近く、歩いて行くこともできます。(自転車で行きますけど)今年もなかなか良いラインアップなので、チケットを買おうとしてるのですが、今日現在なかなかうまくいきません。通しチケットはいつもすぐに予定枚数終了…。しかたないので1日目のチケットのみなんとか確保しますけど、これからの一般販売で2日目買えるかな～？

2年前にSUPER BEAVERというバンドがトリをしていて、それまでそんな意識していなかったのですが、すっかりファンになりました。音楽フェスって、いいもんですよ。彼らの曲に『人として』という歌があります。

信じ続けるしかないじゃないか 愛し続けるしかないじゃないか
身に覚えのある失敗を どうして指差せる？
受け止める以外はないじゃないか 愛し続けるしかないじゃないか
馬鹿だねって言われたって カッコ悪い人にはなりたくないじゃないか
人として 人として かつこよく生きていたいじゃないか

SNSで何か事件や事故が起きるたびに、誹謗中傷、あることないこと、事実でないことも書き込まれ、ちょっと目立ったことをすればたたかれる。そんな時代だからみんな失敗を恐れて、おとなしくなっていくのか。月高生だけでなく最近の若者を見ていると「冒険しなくなった」「他人の顔色ばかり見ている」そんなことを思います。人の失敗を指ささず、かつこよく生きる大人になりたいですね。